

114
A 3437



は
ー

ハ諸島業上ニ種々妨得ヲ生シ大ニ金流
 産肉店スルモノ又少ナカレヨリ人々互
 危ヲ含ム如キ結果ヲ生セシハ能ク人々知ル
 ナリレカ昨五日北方ヨリノ通知ニ依レハカレドニ
 アニ銀行ナルモノモ亦遂ニ解産ニ決セシト云
 右銀行ノ創立ヲ尋ルニ昂ケ一千八百三十八年ニ
 テ資本金高ハ三十五万磅其株数ヲ三万トシ
 昂ケ其一株八十磅ナリト元来右銀行ハ創
 立已来尚極力ニ極力ニ確キタル法方ニテ他
 争ツテ利得ヲ廣大ニ示サントスルモノノ如ク非サレシ

大正十一年四月
 大隈侯爵邸寄附

ヨリ是迄諸人ノ信安ヲ得シカ如何セン彼ノ内
店セシレグラスユーバンクト不幸ニシテ近來一ノ干採
ヲ有セシヨリ諸人大ニ疑惑ヲ起シ預人ハ其預
金ヲ引キ出し留者ノ株主ハ之ヲ賣却スルヲ急ト
シ自然残余ノ株主ハ皆窮乏人ノニ至ラニ
スルノ勢ヲ醸セシヨリ不得己遂ニ此ノ解産ノ
事ニ及ヒシハ実ニ遺憾ノ事ナリシカ其遺産ハ
余程多ク教ノ存在セシヨリ他人ニ害損ノ生スルモ亦
後ヲテサカント云然、而シテ右銀行ノグラスユーバンク
ニ干採ノ願未ヲ用クニ其内店ニ先キ一時ヲ替
ノ組織ヲ生セシカサ、^{海峽}抵市物ノ十分分ナラサルヨリ
僅^羅呼高四百磅ノグラスユーバンクノ株ヲ買入抵
市ニ備シシカ即チ不運ノ始ニテ其銀行ノ事見

任ハ毎有限ナルヨリシテグラスユーバンクノ内店ヨリ
此ノ僅四株ニ配当スヘキ出銀幾多ヲ要ス可キ
ヤヲ預知シ難ヤヨリ遂ニ斯ノ如キ勢ニ至リシハ恐
ル可キ事ナリト云

右概略ニ至ル教内報ニテ也

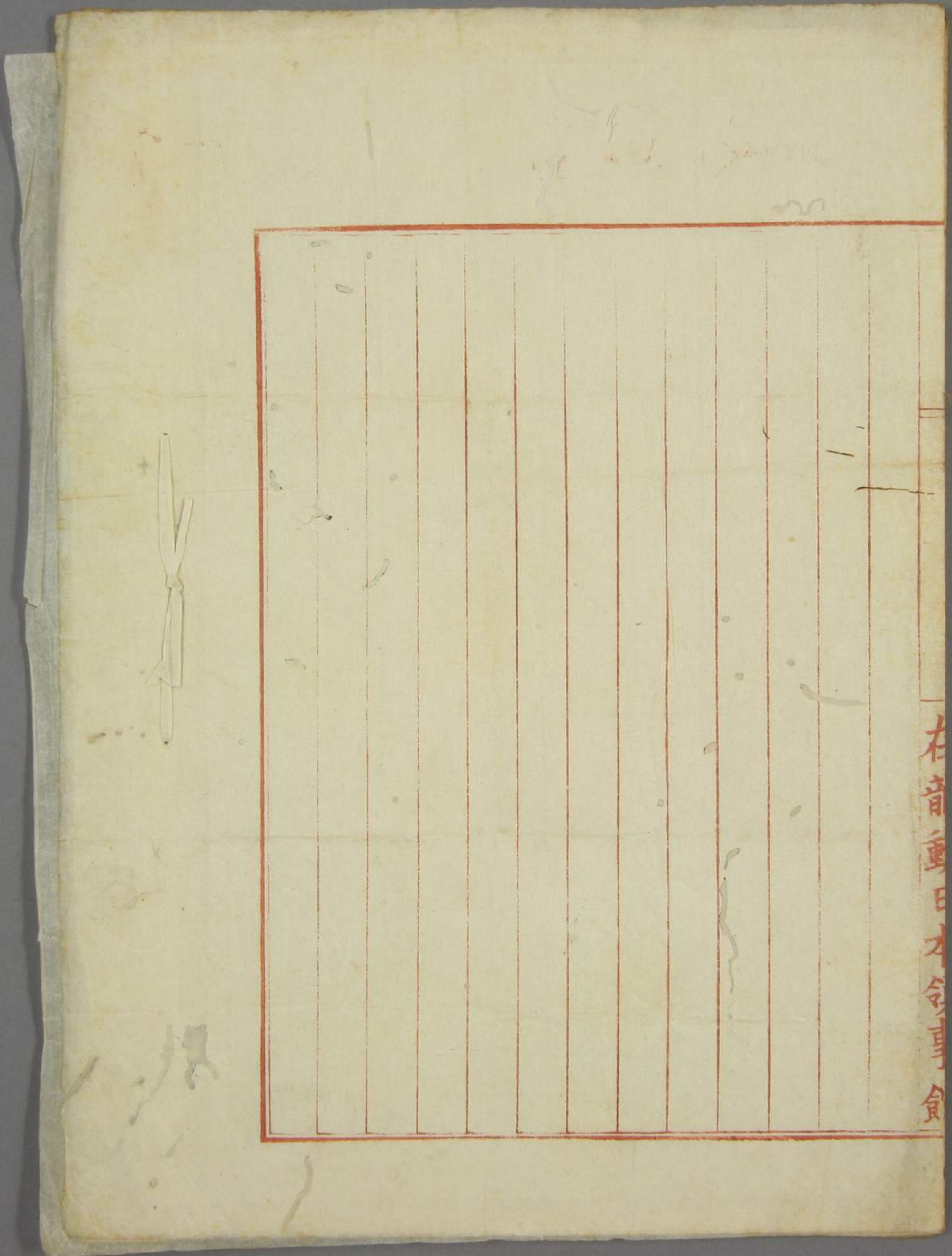
明治十一年十一月三日

南保

松方様

閣下

右書力日本領事館



在音重日本金事食